

# パンジー通信

ホームページ <http://www.pansy-nara.net/>

 フェイスブック <https://m.facebook.com/pansynokainara/>

奈良LDの親の会「パンジー」はLD及びADHD、アスペルガー症候群、高機能自閉症、軽度知的障害など、発達障害児（者）の親・本人の会です。

パンジー通信五十四号  
目次

- ・全国LD親の会 近畿ブロック  
研修会および青年の集い報告  
..... 2～3
- ・運営部 パンジーの会講演会報告 .... 4
- ・パンジーの会 勉強会報告 ..... 5
- ・アド部 行政訪問活動報告 ..... 6～7
- ・小中高部 県教育委員会訪問 ..... 8
- ・土曜会児童部クリスマス会 ..... 9
- ・パンジー各部活動報告  
運営部・小中高部・アド部（高卒相当以上）  
ピアカン、土曜会各部 ..... 10～11
- ・お知らせ 障害がある人たちの  
地域フォーラム・奈良.... 12



皆様 こんにちは。パンジー代表の入船です。

昨年、9月に小瀬古さんの「引きこもりが見えてきた時の対処」をはじめ開催し、定期開催をしていくことになりました。10月には近畿ブロック「青年のつどい」を奈良で開催し18名の青年が、平城宮跡のパビリオン見学や数々の出店でおいしいものを食べたりと、交流会は明るい笑顔の中無事終了できました。

また12月に開催した島崎まゆみ先生による「発達障害児の兄弟支援について～第2回」は、一般の方も含め25名の方にご参加いただき、積極的な質疑応答を中心に活発な講演会となりました。

令和2年はパンジー設立30周年を迎えます。パンジーの会が盛り上がる企画を  
してまいりますので、発達障害児・者を持つ親の方々の輪を広げていきましょう。

## 近畿ブロック報告

### ①研修会報告

11月17日(日)13:30から大阪産業創造館5階研修室Dにて、LD親の会近畿ブロック研修会が開催され、障がい児者相談センターみゆう・滋賀県の社会福祉法人しが夢翔会の越野緑先生にお越しいただき「発達障がい児(者)が犯罪・事件にかかわったら～当事者や親の心構え～」と題し、お話しいただきました。当会より6名が参加し、うち1名は、スマホやパソコンで参加できる「ネット研修会」で参加しました。これはLD親の会では初めての試みで、参加者はどこにいても研修に映像配信で参加できます。まだ実験段階で、映像や音声途切れるなどもあり今後の実施は未定ですが画期的な方法で、各会において様々な活用が期待されます。

研修会では、越野先生が、発達障害のある人がその特性で不利益を被ってしまった様々な事件を具体例を用いてお話しいただきました。電車内で、していないにもかかわらず痴漢呼ばわりされ、警察と聞いて動揺した親がお金を支払ったが実は障害者をカモにした女性であった件、また、昔なら「つけ」で買うこともできたが、今の社会では通用せず、ほしいと思いき悪気もなく持ち去ってしまい「万引き」とされてしまう件など、社会生活の変化に伴いトラブルの起こるシチュエーションが増えている現在、親や介助者は、適切な対処法を知っておくことや、法テラスの活用(出張相談・地域啓発のための研修など)、地域の弁護士や司法書士の活用なども必要。

「知らないうちに犯罪に巻き込まれていた」「知らないうちに犯罪を犯していた」を防ぐため、南高愛隣会「暮らしのルールブック」などの活用。例えば、この本のP13やってみましょうの項目では、お店の看板を蹴るとどうなる?お店の看板と蹴ると誰が困る?この人はなぜ、店の看板をけってしまったのでしょうか?この人が暴力をしないためにどうしたらいいのでしょうか(NGワード:がまんする)?これを話しあうことで、ひとつひとつの項目をいろんな人の意見でわかちあい、さまざまな考えや意見があることを本人が知ることが大切であり、「ダメダメ」はダメ。ダメと言っているだけでは本人はわからない。蹴るという行為で解決するという方法は間違っていることを知り、蹴らずにどうしたらいいのか、ストレス発散の方法を見つけていくことで、暴力や犯罪で解決する以外の方法で見つけ出すことができます。衝動的に見える行動にも実は理由がありその理由を探すことですぐに行動が変わることはないが、何度も何度も考えることを繰り返していき、ひとつでも理解してできるよう、繰り返すことが大事である。

警察に遭遇した時の対応を本人に伝えておく。逃げないこと・名前を言うこと・療育手帳や学生証など身分証明証をみせること。また、事業所の所長の名刺などを持っていき、警察にみせることも有効。職務質問され、逃げたり抵抗したり、警察官の持っているものに興味本位で触れたりして公務執行妨害で逮捕されることもあり、職務質問はきちんと聞かれたことに答えたらよいと伝えておく。「まごころカード」やヘルプマークで、配慮してほしい事を書き携帯しておくなども。

発達障害のある人は、社会性やコミュニケーションの障がいで、被害にあった人が言ってほしい反省の言葉がでにくく、反省するふりや取り繕うことが苦手であり、心証が悪くなり罪が重くなることもある。また、まじめで、詐欺に巻き込まれやすく、加害者ではなく被害者になることのほうが多い。サインしてと言われてしてしまったり、言っていないこともうなずいてしまい、言ったことになってしまい犯人にされてしまうこともある。いざという時のために、本人とともにロールプレイングをしたり、とっさに答えられないことも予想されるため、電話番号がわかるようにしたり身分証明書や作業所の名刺などを常時、持たせておくことも必要。

また、「グッドライフ」の追求、居場所と出番、仲間・社会参加・余暇・恋愛・仕事・・・など、本人がよりよく生きることがなによりも大切であることも、お話いただきました。

この研修に参加し、誰しも犯罪に巻き込まれる可能性はあり、もし巻き込まれた時はまずどうするかといった対処法は、誰でも知っておくことが必要であること。そして、その時に相談できる弁護士と繋がっておくことが大切であることを感じました。発達障害のある我が子が、いつ、どこで犯罪に巻き込まれても対処できるよう、日々、本人としっかり話することがなによりも大切であることも感じました。よい題材の研修会を企画していただき、参加できて本当によかったです。

## ②青年の集い報告

近畿ブロック青年の集いを10月20日（日）にパンジーの会が主催し、奈良県の平城京跡歴史公園朱雀門ひろばにて開催しました。天候にも恵まれ、平城宮跡公園の年に一度のイベントの日とも重なり、とても楽しい集いとなりました。各ブロックの18歳以上の男女18名が西大寺駅に全員遅れることなく集合し、平城宮跡ひろばで前日より開催されていた『平城京天平祭みつきうまし祭』のさまざまなイベントに参加したり、当会による自己紹介タイムやクイズ、ランチや写真撮影、また天平みはらし館でのVRシアターや平城京いざない館・天平みつき館での展示物や体験コーナー、復元遣唐使船に乗船など、楽しい時間を過ごすことができました。広場や館内が大変広く、また、10月後半とは思えないほど気温があがり、参加者の中には歩き疲れている方もあり、帰りは予定を変更し、イベントで運行されていた無料シャトルバスに乗り、西大寺駅まで向かいました。

ボランティアとして参加した当会の小中高部の保護者からは、18人全員ではありませんがたくさんの方とお話しをすることができてよかったです。成人された様子など、我が子の将来を重ねながら感じることもありました。滋賀の方は、手をつなぎ、仲が良さそうで、どんな活動をされて仲間意識が高まったのかな、と感心しました。また、やや一方的ではあるけれど、質問に丁寧に答えてくれたり、電車の話して盛り上げられた方や、一人で大丈夫です、というタイプの方、爽やかにニコリとされて会釈をしてくれた方……。挨拶・会話・人の話を聞く。どんな事を我が子や当会の子たちに伝えたらいいのか、大事なことは何かを感じ、今後の参考にしていきたいと思いました、との感想をもらいました。

毎年開催されている近畿ブロック青年の集い。青年はもちろんですが、主催する私たちにも楽しく、いろいろな学びのある大切なイベントであると感じました。怪我もなく、迷子者もでず、無事、青年のつどいを終えることが出来ました。ご協力いただいたパンジーの会会員のみなさん、ありがとうございました。

## パンジーの会 講演会報告

12月1日(日)奈良県営福祉パーク2階研修室におきまして、兵庫教育大学大学院臨床心理コース准教授嶋崎まゆみ先生にお越しいただき、「発達障害のある子のきょうだい支援～きょうだいがのびのびと育つヒント～」と題し、講演会を開催しました。一般の方12名、パンジーの会会員13名あわせて25名の参加がありました。先生の活動などの紹介の後、きょうだい支援関連の書籍の紹介、書籍の目次を引用し、参加者の心配事や悩み事をお聞きし、先生にお答えいただく形式で講演会をすすめていただきました。以下、参加者の感想をまとめました。

### (パンジーの会小学生親)

きょうだいに関しては、これまであまり困ったことがないと思っていたのですが、知らないうちに傷つけていることもあるということを知りました。現在反抗期に入りかけ?ですが、親子で色んな話ができる習慣を意識的に作っておこうと思いました。



### (パンジーの会中学3年生男子親)

先生が関わられてこられたきょうだい達の心情や、タイプ別に分けたきょうだい達が大人になってからの事など、貴重なお話しをありがとうございました。これからは、子ども一人一人と丁寧に向き合っていくことを大事にしたいと思いました。

### (一般参加者)

・きょうだいにスポットをあてたお話しを聞ける機会はとても珍しく、すぐくためになりましたし、より話しを聞いてあげようという気になりました。

・事例を盛り込んでわかりやすくお話ししていただき、とても勉強になりました。今後の育児にとっても参考になりました。

・障害を持つ子のきょうだいがどう思っているか、どうしてほしかったかを聞くことができ、改めて考えさせられました。



・講師の先生の話だけでなく、参加者の悩みを聞いたり、司会者の子育て経験を聞いたりして、こういうことがあるのか、こういうふうに行えるのか、と考えられるようになりました。

・いろいろ参考になりました。子どもへの対応や将来についての不安もありましたが、先生のお話しから気持ちが落ち着いてきました。ありがとうございました。

パンジーの会

パンジーの会勉強会  
 「引きこもりの兆しが見えたときの対処  
 ～家族が備えておいた方がよいこと～」



9月29日(日)に、パンジーの会会員のご好意でお宅をお借りし、小瀬古伸幸さん(介護ステーションみのり統括所長 精神科認定看護師)にお越しいただき、「ひきこもりの兆しが見えたときの対処～家族が備えておいた方がよいこと～」と題し、勉強会を開催しました。成人をしたお子さんを持つ親から小学生の親まで、会員8名が参加し、先生を囲んで座談会形式で勉強会を行いました。

家族や子どもに何か普段と様子が違う、と感じた時、学校や職場に行きたくないと言われた時、どうやってよいのか、言わないほうがいいのか、何かしたほうがいいのか、しないほうがいいのか、行動を起こすとしても、何から始めればよいのか…など、それぞれの会員が家庭の悩みを打ち明けつつ、引きこもってしまわないよう、的確な対処の仕方や考え方を教えていただきました。

なによりも子どもと親が普段から自分たちの思いを出し合い、話しをすること。これが、一番大切で、腫れ物に触るように対応することは本人にとってとてもつらいのだそうです。普段と違う、と感じたときに、おかしいな、と思いながら過ごしてしまったり、放っておいたりせず、じっくりと話しをしていくことでこどもの思いを知ること、そして親の思いを伝えること。子どもとの対話の大切さを知りました。

小瀬古先生のお話は大変わかりやすく、会員の悩みや心配事などの家族の話しをじっくりと聞いていただき、また、さまざまな事例を元に丁寧にお話しいただき、今後の子育てや家族にあり方にとっても参考になりました。よい勉強会となり、大変感謝しています。

今後半年に一度、小瀬古さんにお越しいただき会員向けに勉強会を開催予定ですので、ぜひ興味のある方はご参加ください。

(成人保護者)

今回は、発達障害のある子の弟のことで相談をしました。子どもが悩んでいる時、かたくなになって考えを変えようとしないうち、どう向き合えばよいのか、親として伝えた言葉は間違っていないか、どう話せばよかったのかなど、相談でき、先生や会員の方々からよいアドバイスもいただき、これからのことが不安でいっぱいでしたが、気持ちが軽くなりました。子どもや家族の問題を、抱え込まず話せる場があることが、とても幸せに感じました。



アド部

## 行政等訪問活動報告

日時：令和元年9月18日(水)9時～14時半 参加者：(パンジーアド部)午前4名午後3名  
訪問概要

(1)奈良県労働局 職業安定部職業対策課

- ・奈良第三地方合同庁舎2階会議室9時～10時・相手先:A課長補佐、B障害者雇用担当官
- ・入手資料:奈良県の民間企業における障害者雇用状況

労働局から配布資料の説明があり、県の障害者雇用数は、前年比156人増の2449.5人、実雇用率2.67%全国2位、法定雇用率達成企業割合57.4%全国12位(h30.6.1現在)、新規求職申込件数は1.955件、就職件数1.103件。精神障害者とその他の求職は、945件で就職件数は、510件と昨年よりさらに増加しているとのこと。精神障害者(手帳取得者)の就職件数は、平成20年の71件から、平成30年では418件と増加し、全体に占める割合も16.5%から37.9%へと増加している。

昨年民間の雇用率が2.2%に引き上げられた、対象企業規模が50.0人から45.5人以上へと変わり、県では74社増加し645社となった(全国では9.562社増、なお、発達障害者の場合、手帳(療育または精神)保持者で、週20hr以上30時間未満の方は、昨年から0.5人から1.0人とカウントされている。)

一昨年9月から「精神・発達障害者しごとサポーター養成講座」一般の従業員を主対象に精神障害、発達障害に関して正しく理解いただき、職場における応援者(精神・発達障害者しごとサポーター)となっていたいただくための講座(講義・質疑応答で90～120分、企業へ出向くこともあり)を開始したところ、一昨年の半年で、262人が受講し、昨年は884名の方が受講(病院や福祉施設関係が多い)、今後も継続して実施されるとのことなので、理解者がさらに増えることは大変有難い。

当方からは、就労コーディネーター、ジョブコーチ等の就労時、就労後の継続したフォロー、企業側の障害者への配慮事項の継続化、職場の支援者の確保等をお願いした。特に定着支援の方策として、就職案内時の適正職種への紹介や定着への準備としての訓練やジョブコーチの適切な配備の実施と育成増員をお願いした。(育成等は訓練センターの管轄とのことで先方への要望をお願いした。)

なお南都銀行の特例子会社「なんとチャレンジ株式会社」が、南京終町に今年2月に開設され、知的障がい者が採用されているとのこと。

(2)奈良県健康福祉部障害福祉課

- ・奈良県庁本館3階福祉課会議室 10時30分～11時30分
- ・相手先:C課長補佐、雇用促進係D係長
- ・入手資料 福祉医療部予算:雇用関係事業内容

県から就労支援の概要を、年度予算案の概要資料にて説明を受けた。

一般就労への支援として、合計約46百万円 主要なものは、



①なら障害者「はたらく」推進事業 約 35.7 百万円、:障害者就業・生活支援センターを 5 圏域に設置、「障害者はたらく応援団なら」52 社の運営、障害者ニーズに応じた職場実習の受入拡大を推進、嘱託職員の企業訪問により職場実習機会の拡大推進等、

②精神障害者・発達障害者雇用企業サポート事業:約 950 万円 ③障害者職場実習促進事業約 100 万円:職場実習機会を拡大、ジョブサポーターを養成・登録し、障害者の職場実習先に派遣するもの等

福祉的就労への支援として約 9.4 百万円、そのうち目新しいものとして、農業分野での障害者の就労支援のための職場体験実習(3 日程度花卉栽培他) 3.1 百万等。

当方からは、工賃向上への更なる施策のお願いをするとともに、親なきあと、障害者本人や親族が一つのサイトを見れば、すべての福祉の支援内容とその手続き等がわかるように、各所連携したわかりやすい案内の開設をお願いした。(現在県庁ホームページのなかに「障害福祉のご案内」はあるが。)



### (3)奈良県産業・雇用振興部 雇用政策課

・奈良県庁本館雇用政策課会議室 11 時 30 分～12 時 10 分

・相手先:E 能力開発係長、F 主査

障がい者の態様に応じた個別の多様な委託訓練は、継続中、受講を希望する方は、もよりのハローワークに相談して面談のなかで、どんなものを受けられるか確認する、ハローワークは、是非を審査し、県へ紹介、県のコーディネーターが訓練先を決定し、一カ月程度の実践能力習得訓練を受けることができる、随時受けつけているとのこと。(障害者就業・生活支援センター、ハローワーク、福祉施設の連携:なお協力事業所は公表はしていない)

県は、各施設の方に、どんなニーズがあるか伺ったが、ひとりひとり、意向が異なるため、集合教育から個別訓練にシフトしているとのこと。今年の集合型訓練については、未定とのこと。(介護福祉やパソコン事務等:国の雇用保険財源からの委託費)

### (4)奈良県中小企業家同友会

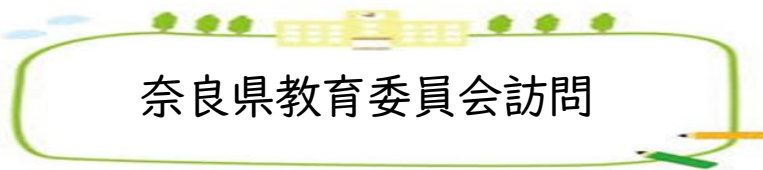
・奈良県経済会館 407 号室 13 時 30 分～14 時 30 分

・相手先:G 事務局長代行

人手不足ですが、障害者を雇うためには、専門家に職場をみていただき、障害者にまかせられる部分の切り出しができないと雇用へはつながらないと考えているとのこと、発達障がい者に対する企業の理解を深めていただくための、現場問題に詳しい専門家の紹介を依頼されたので、会員から以前お世話になった方を紹介した。

地域に根づく企業が生まれ、そのなかで、障害者雇用も積極的に実施してくれる企業が育つことをお願いした。中小企業家同友会全国協議会開催の「障害者問題全国交流会」が、10月 17.18 日に滋賀琵琶湖ホテルで開催予定、分科会の中に多様な人材を雇用し(ダイバーシティ)活躍の場を作られている会社の取り組みもあり、参考にしていきたいとのこと。景気は中国とアメリカの貿易関係悪化により下降ぎみになるとのこと、建設関連はオリンピック景気が終わり、今後の IR や大阪万博関係による奈良の企業への景気向上は期待薄とのことでした。

小中高部



## 奈良県教育委員会訪問

11月13日(水)に小中高学部の保護者4人で、奈良県教育委員会を訪問しました。事前に質問事項をまとめ、メールをし、訪問当日に担当の先生方から回答をいただきました。

質問) 小学校の先生同士の考え方が違い、相談した先生によって答えが違う。どこに相談したらよいのかわからなくなっている。

回答) 相談先は、まず担任→支援担任→支援コーディネーター→(仲のよい支援の先生・元担任とか)→教頭→校長の順。親が積極的に質問をすることは大事。

質問) 公立高等学校の支援学級の現在行われている内容について。また、現在より今後増えるのか減るのかなど詳しく教えて下さい。見込みでも、かまいません。

回答) 高校支援学級は、現在大和中央高校1校のみ。研究試行錯誤の為、2校目は研究検証後日の予定。まだまだ先。大和中央高校の現状は、在籍者六名。普通級の授業を受けながら、別時間に自立活動・コミュニケーション・ソーシャルスキル・面接の練習をしている。

質問) 以前、中学校の担任教諭も合理的配慮を要するという内容の診断書、及びこれまでの発達検査の経過も持参して受験時に相談したそうですが、時間の延長などの配慮は難しい、例えば時間延長であれば利き手を怪我などで障害が生じている時は可能、またディスレクシアでの代読は配慮するということがあったそうです。これまでの高校受験における合理的配慮の例を全例情報開示してほしい。学事担当の方はどの程度発達障害に対して知識があるのか文面で明らかにしてほしい。という希望を持っています。お忙しいところ恐縮ですがどうぞよろしくお願い致します。

感想) 知りたい情報(入試における合理的配慮の実例)を得ることはできず残念でした。県教委の先生方の困った表情を拝見するのは心苦しかったですが、私たちの想いや現状に支援がついていけないことがわかりました。でも現状をお伝えすることができてよかったかなとも思います。対応して下さった先生方、段取りをしてくださった役員さんに感謝です。

参加者感想) 小中学校での発達障害児に対する支援は改善されてきていますが、義務教育でない高校での支援はまだまだこれから…と感じます。少しずつ行政も研究を重ねているようですが、事業として動き出すには数~10年単位かかるようで、個別的な合理的配慮を高校で行える頃には我が子は成人…ただ、我が子と同じ困難さを持つ子どもたちのためにも、今問題を抱えてる私達が何度も意見や希望を伝えていく必要があると再認識しました。また、高校入試における合理的配慮の基準が曖昧であることが本当に残念で大きな課題だなおもいました。教員の能力に左右されることなく、教育現場での発達障害児への効果的なアプローチ方法のデータの蓄積をもっと行い科学的な観点から研究を行って貰いたいものだなあと感じました。



土曜会児童部



12月14日(土) 県営福祉パーク体育館にて、毎年恒例のクリスマス会を開催しました。子ども12名(きょうだい含め)、大人8名参加が参加し、キックベース、リース作り、スプーンリレー、ビンゴゲームをしました。

(小5男子) 楽しかった!ツルを取りに行ったり、プレゼントの買い出しに行ったりしたからどんなになるかと思ったけど、リースも工夫してし、プレゼントもイイので良かった。

(母) 子供たちが楽しんでくれて本当に良かったです。準備しながら「楽しんでくれるかなあ?プレゼント喜んでくれるかなあ?」と心配でした。息子も本当に楽しみにしていてツルの採取やプレゼント選びも一生懸命してくれました。息子自身も「みんなに楽しんで喜んでもらうため」と、言う気持ちが芽生えていて親としても嬉しく思う準備でした。

(小4男子) 思ったよりイイのができたと思う。

家族の好きそうなパーツをそれぞれに考えて作ったら、みんな喜んでくれて嬉しかった。終わった後もみんなとボールで遊べて楽しかった!

(親) リース作りでは色々工夫しながら完成まで頑張って作っている姿を見られて、嬉しく思いました。人数が多く、ゲームやボールで遊ぶのも盛り上がり楽しそうでした。

(小4女子きょうだい) とっても良いリースが出来て嬉しかったです。玉運びは落とさずに運べて良かった。

(親) リース作りでは色や形など バランスを考えながら作って いて楽しそうでした。出来上がった作品は皆それぞれ個性があって、素敵でした。ゲームやプレゼントもあって親も子どももたくさん楽しませて頂きました。みなさんありがとうございました。

(小6男子) 楽しかったです。リースは上手に作れました。スプーンゲームでは、僕の班も相手のはんもきれいにツリーを飾れました。

(親) みんなが飽きることなく自分の思い思いの飾りを芸術的に?作っている様子が素敵でした。また、お母さん方で後片付けをしている間、子どもたちだけでボール遊びをしていた場面が見られ、良い雰囲気が感じられました。



## パンジー各部活動報告 & 今後の予定



### 《 運 営 部 》

#### 活 動 報 告

- 9月29日 パンジー勉強会「引きこもりの兆しが見えたときの対処」(西大寺)
- 10月20日 近畿ブロック青年のつどい(朱雀門ひろば)
- 11月17日 近畿ブロック研修会「発達障害児(者)が犯罪・事件にかかわったら」(大阪産業創造館)
- 12月 1日 パンジー講演会「発達障害児(者)のきょうだい支援」(福祉パーク)

#### 今 後 の 予 定

- 1月19日 役員会議、全体交流会(あすなら苑)
- 1月25日 パンジー新年会(大和八木・彩食酒喜たち花)
- 3月 8日 近畿ブロック会議(ドーンセンター)

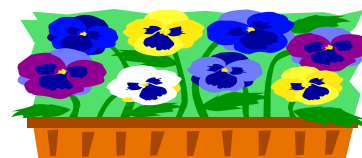
### 《 小 中 学 部 》

#### 活 動 報 告

- 9月18日 サロン川西
- 10月16日 サロン川西
- 11月20日 サロン川西
- 12月18日 サロン川西

#### 今 後 の 予 定

- 1月15日 サロン川西
- 2月19日 サロン川西
- 3月14日 レクリエーション(ボウリングの予定)
- 3月18日 サロン川西



### 《 アド部 》

#### 活 動 報 告

- 9月18日 行政訪問活動

#### 今 後 の 予 定

- 3月未定 ランチ会または見学会

### 《 ピアカン 》

#### 活 動 報 告

- 9月~12月 おしゃべりサロン 天候・会場の都合により開催できませんでした。

#### 今 後 の 予 定

- 1月25日 新年会(ピアカン参加)
- 2月15日 おしゃべりサロン(西大寺)
- 3月2日 ペアレントメンター(天理)でいあ~依頼
- 3月21日 おしゃべりサロン(西大寺)

# 土曜会各部

土曜会は、特別支援教育士SVの大庭譲治先生が共に活動するソーシャルスキルトレーニング（SST）学習の場です。土曜会活動は、小学生の児童部、中高生の青年部、18歳以上の成人部の3つの部に分かれて活動しています。

## 児童部

### 活動報告

- 9月14日 土曜会活動/福祉センター
- 10月12日 土曜会活動/福祉センター ⇒台風の為中止
- 11月9日 土曜会活動/福祉センター
- 12月14日 土曜会活動/福祉パーク (クリスマス会)
- 1月11日 土曜会活動/福祉パーク

### 今後の予定

- 2月8日 土曜会活動/福祉パーク
- 3月14日 土曜会活動/福祉パーク

## 青年部

### 活動報告

- 9月14日 土曜会活動/福祉センター
- 10月12日 土曜会活動/福祉センター ⇒台風の為中止
- 11月9日 土曜会活動/福祉センター
- 12月14日 土曜会活動/福祉パーク
- 1月11日 土曜会活動/福祉パーク

### 今後の予定

- 2月8日 土曜会活動/福祉パーク
- 3月14日 土曜会活動/福祉パーク



## 成人部

### 活動報告

11月16日(土) 二階堂 スタミナ太郎  
12名参加しました。幹事は、k君でした。  
大庭先生はもちろん大和中央高校のS先生も  
今回は参加し焼肉のほかサラダ、寿司などで  
お腹一杯でした。

### 今後の予定

2月15日(土) 開催いたします。幹事はY君です。  
多くの参加募集してます。

**パピボラを募集しています!!**